

蛙いっぱいのおんぼを



河北潟に取りもどそう

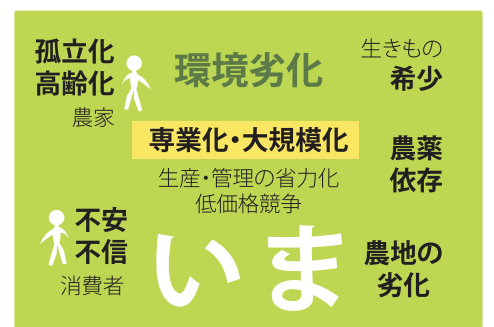
生きもの元気米と七豊米で、
おんぼの生きものと健康を守ろう！

おんぼから生きものが消えている

米どころといわれる北陸の水田地帯でも、カエルの鳴かないおんぼがひろがっています。競争力の強化という圃場の大規模化と効率化には、大型機械の使用や、除草剤、ネオニコチノイド系農薬などの使用が前提となります。それは、環境を劣化させ、生物多様性を損なう方向に進むものです。「生きもの元気米」と「七豊米」は、おんぼを守り、持続可能な地域を守るための取り組みから生まれました。

生きもの元気米とは、**畦の除草剤不使用、ネオニコチノイド系農薬不使用（ヘリコプターによる空中散布なし）**のおんぼでとれたお米です。生きもの調査をおこない、それぞれのおんぼで確認された生きもののリストを商品に明記します。

ネオニコチノイド農薬は、ミツバチ大量死の主な原因ともいわれ、神経に作用する毒性の人間への影響や生物群集への影響が懸念されています。最近、ヨーロッパでは使用が中止されました。



生きもの
元気米



NPO

